

平成 24 年 7 月 11 日

(社) 福島県臨床衛生検査技師会
県南支部会員 各位

(社) 福島県臨床衛生検査技師会
県南支部長 白石 満

【講演会】および【暑気払い】のお知らせ

猛暑の候 皆様におかれましては益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。

さて、近年、微生物検査において画期的な細菌同定法が開発され、注目を集めております。2002 年にノーベル化学賞を受賞した田中耕一博士が開発した技術「タンパク質の質量分析法と核磁気共鳴分光法」を応用した原理だということです。

つきましては、この全く新しい細菌同定の技術についての講演会を開催いたしますので、ご参加下さいますようお願い申し上げます。

なお、終了後、恒例の県南支部・暑気払いを開催いたしますので、併せてご参加下さいますようお願い申し上げます。

記

【講演会のご案内】

日 時 : 平成 24 年 8 月 11 日 (土) 15:00 ~

場 所 : 太田西ノ内病院 5 号館 研修センター会議室 2 (大)

講 師 : シスメックス・ビオメリュー株式会社
臨床マーケティング部 吉田欣史 先生

演 題 : 細菌検査における全く新しい同定法について
—質量分析計の基礎～応用・実用例—

要旨 :

従来の細菌同定は、生化学的性状から菌名を決定し、検査報告までは 2~24 時間程度を要するものが主流である。

近年では 16S rRNA 塩基配列を用いた同定手法も活用されているが、精度は格段の向上は見せているものの、操作の煩雑性、処理に数時間を要する等、臨床応用には限定的である。

これまで欧州諸国を中心に研究が進んできた質量分析による微生物同定では、微生物のリボゾームタンパク質を分析し、各菌種から得られるスペクトルに基づいて同定解析を行う。操作の簡便性、迅速報告といった特徴から本手法は臨床分野においても注目を集めている。

今回、臨床分離株を用いた生化学性状および質量分析に基づく同定結果比較や応用実例について報告する。

【暑気払いのご案内】

目的： 県南支部会員の「親睦」を第一義とし、日々の慰労と、ますます健康にて
明日への英気を養い、体内に溜まった暑気を打ち祓う。

日時： 平成 24 年 8 月 11 日（土） 17：30 ～
講演会終了後、西ノ内病院より徒歩にて移動します。

場所： 竜宮城 西ノ内店 郡山市西ノ内 1-13-9 TEL 024-939-4649

会費： 4,500 円

参加申込： お電話または別紙「参加申込書」にご氏名をご記入の上、
FAX でお申し込み下さい

申込先： 今泉西病院 中央検査室 菅野 浩之
TEL 024-934-1515 (内線 741)
FAX 024-921-1720

申込期日： 8 月 4 日（土）まで

----- キリトリ -----

暑気払い参加申込書

施設名（ ）

FAX 024-921-1720

申込先：今泉西病院 中央検査室 菅野 浩之
TEL 024-934-1515 (内線 741)
FAX 024-921-1720